

あなたの血液・尿検査結果を参考基準値と照合してみましょう



血液検査の見方

項目	参考基準値	説明	疑われる主な病気
白血球数	3200-8500 (μl)	白血球は体内に細菌などの異物が侵入すると、それらを無毒化する働きをします。体内での感染症や心筋梗塞などが起こると、血液中の白血球が増加します。	↑白血球・肺炎 ↓肝硬変・貧血
赤血球数	男：400-539 (x10 ⁶ /μl) 女：360-489	血液の中に含まれている赤血球の数を調べる検査で、ヘマトクリット、ヘモグロビン検査とともに、主に貧血、多血症などを見つける手がかりになります。	↑多血症・脱水 ↓貧血・白血病
ヘモグロビン	男：13.1-16.6 (g/dl) 女：12.1-14.6	赤血球に含まれる色素を調べる検査です。ヘモグロビンは体中に酸素を運ぶ働きをしています。	↓貧血・白血病
ヘマトクリット	男：38.5-48.9 (%) 女：35.5-43.9	一定量の血液の中に、どれくらいの割合で赤血球が含まれるかを調べる検査です。	↑多血症・脱水 ↓貧血
総コレステロール	140-199 (mg/dl)	ホルモンや細胞膜の材料として必要なものですが、多すぎると動脈硬化を進める一因になります。	↑動脈硬化 ↓パセドウ氏病・肝障害
HDLコレステロール	40-119 (mg/dl)	善玉コレステロールのことで、血液中の余分なコレステロールを取り込んで肝臓へ運び、動脈硬化を防ぐ働きをします。喫煙や肥満、炭水化物の摂り過ぎで低下し、食生活の改善や運動、リラックスすることで増加します。	↓動脈硬化
LDLコレステロール	60-119 (mg/dl)	血管の壁に蓄積し、動脈硬化を起こし脳梗塞や心臓病の原因になるので悪玉コレステロールと呼ばれています。	↑動脈硬化
中性脂肪	30-149 (mg/dl)	体に必要なエネルギー源ですが、使われなかったものは体内に脂肪として蓄積され、皮下脂肪・内臓脂肪として蓄えられます。食事による数値の変動が大きく、脂肪、糖質類、アルコール類を多く摂ると増加します。	↑動脈硬化
β-リポ蛋白	170-500 (mg/dl)	血液の脂質（コレステロールや中性脂肪など）と結合し、血中を流れるたんぱく質です。増加する場合は、動脈硬化などの指標になります。	↑動脈硬化
GOT (AST)	0-30 (IU/l)	心臓、肝臓、骨格筋の細胞に多く含まれる酵素です。心臓や肝臓に障害があり細胞が破壊されると多量に血液中に流れ出し値が増加します。	↑肝炎・心筋梗塞
GPT (ALT)	0-30 (IU/l)	大半は肝臓に含まれる酵素です。肝細胞の急性や壊死で値が増加します。	↑肝炎
γ-GTP	0-50 (IU/l)	アルコールに敏感に反応するのでアルコール性肝障害の発見に役立ちます。お酒を飲まない人で異常値が出たときは、胆汁の流れに障害がないか、薬をのんでいないか、更に詳しい検査が必要です。	↑アルコール性肝障害
ZTT	4.0-12.0 (U)	肝機能の検査方法で、血清の成分に試薬を加え、血清たんぱく質の変化を凝濁の程度で把握します。肝臓病や胆道病で上昇しますが、この値だけでは異常と判断できないので他の項目と合わせてみる必要があります。	↑慢性肝炎・肝硬変
ALP	110-360 (IU/l)	肝臓や骨、腎臓、小腸などに多く含まれ、それらの臓器に障害が起こると血清中に増加します。また、胆汁の排出経路の異常も調べることであります。	↑肝炎・心筋梗塞
総ビリルビン	0.2-1.1 (mg/dl)	総ビリルビンのことで、寿命を終えた赤血球のヘモグロビンの分解産物で、肝臓が分解して胆汁として排出されるものです。総ビリルビンは、間接ビリルビンと直接ビリルビンを合わせたものです。肝臓、胆管などに障害があると血液に入って黄疸を生じます。	↑動脈硬化
総蛋白	6.5-8.0 (g/dl)	血清総たんぱく質のことで、栄養状態、肝臓や腎臓の機能などを調べる検査です。	↑脱水症 ↓栄養不良
尿素窒素	8.0-22 (mg/dl)	体内のたんぱく質が分解されてできる燃えカスで、大部分は尿中に排泄されます。腎臓に障害があると上昇します。腎臓や尿路に特に異常がなくともたんぱく質を多く摂った時や軽い脱水症状でも上昇することがあります。	↑腎炎
クレアチニン	男：-1.00 女：-0.70 (mg/dl)	筋肉運動のエネルギーが分解されてできた物質です。腎臓の排泄機能を検査し腎臓障害があると上昇します。筋肉量に比例しているため、個人差が大きいです。	↑腎炎・心不全
尿酸	2.1-7.0 (mg/dl)	細胞の燃えカスでプリン体という物質からできており、通常は老廃物として尿と一緒に排出されますが、尿酸が腎臓からうまく排泄されなかったり、プリン体を多く含む食品を取り過ぎたりすると値が上昇し、痛風や腎臓結石の原因になります。	↑痛風
空腹時血糖	-99 (mg/dl)	食べ物を摂ると、血糖値があがるので空腹時の血液中にブドウ糖が増えすぎていないかを調べる検査で、糖尿病発見の手がかりになる検査です。	↑糖尿病
HbA1c	-5.1 (%)	血液の赤血球に含まれるヘモグロビンにブドウ糖が結びついたもので、食事や運動に影響されにくく、いつ測っても過去2-3か月の平均的な血糖の状態をみることであります。	↑糖尿病
血清アミラーゼ	37-125 (IU/l)	膵臓に障害があると血液や尿中にアミラーゼがもれ、数値が上昇します。	↑急性膵炎・慢性膵炎 ↓ウイルス性肝炎



尿検査の見方

項目	参考基準値	説明	疑われる主な病気
尿蛋白	(-)	主に腎臓や尿管などの病気を見つける手がかりになります。ただし、激しい運動、たんぱく質の多い食事、ストレスでも一時的に出ることもあります。	↑急性腎炎・慢性腎炎
尿糖	(-)	糖尿病発見の手がかりになる検査です。激しい運動、ストレス、胃の手術をした場合に尿糖が出ることもあります。	↑糖尿病
尿ウロビリノーゲン	(±)	胆汁の中のビリルビンが腸内細菌によって分解されてできる物質です。肝臓や胆道系の働きを調べます。	↑便秘・肝炎 ↓胆道閉塞
尿潜血	(-)	腎臓、尿管、膀胱、尿道などの尿路に何らかの異常があると尿中にわずかに赤血球が混入することがあり、肉眼では見えない潜血を調べる検査です。	↑腎炎・膀胱炎

事業所コード 999999
株式会社 日本検査

所在地 〒100-0001
東京都中央区日本橋1-1

TEL 03-3338-1111

事業所名 株式会社 日本検査

氏名 個人コード 9999990000/ 性別 男
日本 五郎 様 年齢 60 歳

生年月日 昭和28年1月25日 血液型 型 Rh

健康診断年々月日 2014年1月1日 年齢(60歳) 健康診断年々月日 2013年4月1日 年齢(60歳)

項目	検査結果	判定	項目	検査結果	判定	項目	検査結果	判定	項目	検査結果	判定
自覚症状	特になし	判定	自覚症状	特になし	判定	身長・体重	163.5 cm / 64.0 kg	A	身長・体重	163.7 cm / 64.5 kg	A
他覚症状	異常なし	A	他覚症状	異常なし	A	標準体重・BMI	58.8 kg / 23.9 %	A	標準体重・BMI	59.0 kg / 24.1 %	A
視力	右 0.9 () 左 0.9 ()	A	視力	右 0.9 () 左 0.9 ()	A	腰圍・体脂肪	84.0 cm / %	A	腰圍・体脂肪	cm / %	A
聴力	右 1000Hz 所見なし 左 1000Hz 所見なし	A	聴力	右 1000Hz 所見なし 左 1000Hz 所見なし	A	眼底検査		A	眼底検査		A
心電図検査	正常範囲	A	心電図検査	正常範囲	A	胸部エックス線検査	フィルムNo 0000 異常なし	A	胸部エックス線検査	フィルムNo 0019 異常なし	A
尿検査	糖 (-) 蛋白 (-)	A	尿検査	糖 (-) 蛋白 (-)	A	腹部エックス線検査	フィルムNo 0011 異常なし	A	腹部エックス線検査	フィルムNo 0011 異常なし	A
血液検査項目	検査値	判定	血液検査項目	検査値	判定	血液検査項目	検査値	判定	血液検査項目	検査値	判定
白血球数	498	A	白血球数	504	A	白血球数	498	A	白血球数	504	A
赤血球数	15.0	A	赤血球数	16.0	A	赤血球数	15.0	A	赤血球数	16.0	A
ヘマトクリット	90	A	ヘマトクリット	97	A	ヘマトクリット	90	A	ヘマトクリット	97	A
HbA1c	5.1	A	HbA1c	5.1	A	HbA1c	5.1	A	HbA1c	5.1	A
総蛋白	7.0	A	総蛋白	7.0	A	総蛋白	7.0	A	総蛋白	7.0	A
尿素窒素	12.4	B	尿素窒素	11.8	A	尿素窒素	12.4	B	尿素窒素	11.8	A
クレアチニン	1.20	B	クレアチニン	1.21	B	クレアチニン	1.20	B	クレアチニン	1.21	B
GOT	35	B	GOT	38	C	GOT	35	B	GOT	38	C
GPT	25	B	GPT	24	C	GPT	25	B	GPT	24	C
γ-GTP	40	B	γ-GTP	42	C	γ-GTP	40	B	γ-GTP	42	C
ZTT		B	ZTT		C	ZTT		B	ZTT		C
ALP		B	ALP		C	ALP		B	ALP		C

医師の診断 及び 医師の意見 (就業上の注意事項)

健康診断を実施し、異常を述べた医師の氏名

判定 判定不能

健康診断を実施し、異常を述べた医師の氏名